

論文 / 著書情報
Article / Book Information

| | |
|------------------|--|
| 論題 | 個人の大切な場所が織りなすまちの構造の研究 大岡山・千束地区を対象として |
| Title | A study on the structure based on the important places for residents and their relationship with those places Upon a case of Ookayama and Senzoku Area |
| 著者 | 木場 佳音, 杉田 早苗, 土肥 真人 |
| Authors | Kanon Koba, Sanae Sugita, Masato Dohi |
| 出典 | 都市計画論文集, Vol. 56, no. 3, pp. 975-982 |
| Citation | Journal of the City Planning Institute of Japan, Vol. 56, no. 3, pp. 975-982 |
| 発行日 / Pub. date | 2021, 10 |
| 権利情報 / Copyright | 本著作物の著作権は日本都市計画学会に帰属します。本著作物は著作者である日本都市計画学会の許可のもとに掲載するものです。ご利用に当たっては「著作権法」に従うことをお願いいたします。 |

個人の大切な場所が織りなすまちの構造の研究

- 大岡山・千束地区を対象として -

A study on the structure based on the important places for residents and their relationship with those places

- Upon a case of Ookayama and Senzoku Area -

木場 佳音*・杉田 早苗**・土肥 真人**
Kanon Koba*, Sanae Sugita**, Masato Dohi**

In 2020, the Ookayama and Senzoku Area City Development Association conducted a questionnaire survey and asked local residents about their important places in the area. This study aimed to analyze the results of the survey and to clarify the characteristics of their important places and reasons. We have obtained the following findings. (1) There are three types of important places; the places that many residents throughout the city think important, the places that residents particularly in a smaller area think important, and the places that each resident personally thinks important. (2) The reasons why they value those places can be divided into 10 categories. The reasons capture the essence of the place, which should be an important factor in considering the conservation of the place. (3) Revealing the important places for residents and their relationship with those places creates the structure of the local area. The structure represents the community life and essence of the area, and could become a guideline for future city development.

Keywords: Place Attachment, Area Characteristics, Community Planning,

地域愛着, 地区特性, まちづくり

1. はじめに

(1) 研究の背景と目的

心の拠り所となる「大切な場所」が地域の中に複数存在することは重要である。自宅だけでなく、身近な地域の中に「大切な場所」があることは、地域アイデンティティの形成や地域への愛着を醸成するものだと考えられる。こうした場所の存在を把握し可視化することは、まちづくりの要素として必要不可欠である。加えて、感染症対策のため地域で過ごす時間が増している現在、心の拠り所となるような「大切な場所」の存在は、より重要になっていると考えられる。

2020年6月、大岡山・千束地区まちづくり協議会は「大岡山・千束地区の未来のためのまちづくりアンケート」を行った。本研究は、そのアンケート調査内の重要な項目である「大切な場所」に関する問いについて調査報告を行うものである。

大切な場所については1(2)で後述するように関連する研究がいくつか存在し、本研究と同様に圏域図示法による調査方法もみられるが、これらの研究では場所を類型化して分析している。しかし、例えば同じ街区公園であっても、その場所が持つ性質や場所との関係によって大切に思う理由は異なっていると考えられることから、本研究では、具体的な個々の場所と人々がどのような関係を持っているのかを分析する。

以上より、大岡山・千束地区の住民を対象に実施した「大切な場所」に関するアンケート調査の結果から、①地域住民にとっての大切な場所はどのような場所であるのか、またその特徴を把握すること、②その場所を大切に思う理由を把握するとともに理由からみた大切な場所の特性を把握すること、以上2点を本研究の目的とする。

(2) 先行研究と本研究の位置づけ

大切な場所に関連して、場所の記憶や物語の共有による地域愛着への影響を考察した研究はこれまでもいくつか見られる。松村ら¹⁾は、地域の絆を住民の地域のなじみととらえ、住民の地域に対するなじみの意識構造を明らかにし、地域住民から収集した場所の記憶を共有することによって、地域に対するなじみに及ぼす影響を研究している。宮川ら²⁾は、2010年に開通した「かしてつバス導入経緯」に着目した物語を作成し、その物語が地域愛着や公共交通への態度に与える効果を、窪田ら³⁾は、地域の「物語」に着目し、地域住民の協働事業への受容意識や参画意識との関連を実証的に検討している。これらの研究は地域愛着への影響に注目したものといえる。

好きな場所や大切な場所と地域特性を関連づけている研究としては以下の研究がある。建部ら⁴⁾⁵⁾は、まちづくりの切り口の一つとして子どもの心象風景に着目し、その想起場所や想起理由は地域特性に影響を受けること、子どもの想起場所は日常性を有した場所であり、自宅周辺または学校方向にあることを示した。湯川ら⁶⁾は、地域住民が大切に思う場所とその理由の把握の手法として、5つに類型化した場所の経験価値の有効性を検討した上で、コミュニティ・スケールの空間計画に活用できる可能性に言及している。これらの研究では圏域図示法による調査方法を採用しているものの、回答のあった場所については類型化した上で分析・比較を行っており、この点が本研究と異なる。

一人一人の人と場所との関係については、「聖なるもの」の観点から宗教学者と建築家・都市計画家らの文献に散見された。まず宗教学者であるオットー⁷⁾によると、「聖なるもの」は非合理的で、非日常的経験をもたらす。そしてエリアーデ⁸⁾は、非日常性と超越性をもった「聖なるもの」

* 学生会員 東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系(Tokyo Institute of Technology)

** 正会員 東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系(Tokyo Institute of Technology)

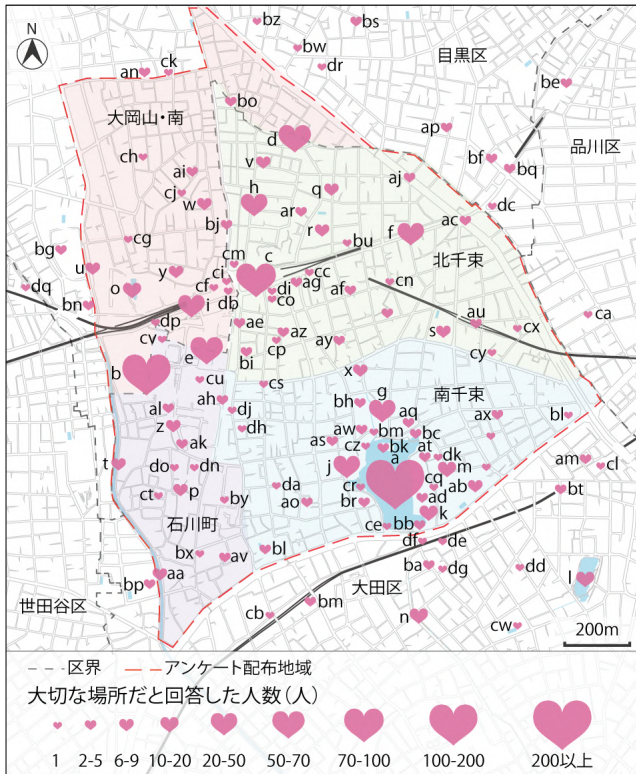


図3. 「大切な場所」の回答結果

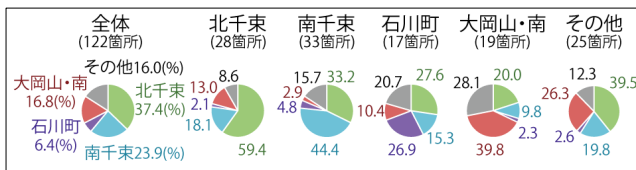


図5. 「大切な場所」の回答者の町別割合

数 50 件) あり、大切な場所の回答総数の 4.5% を占める。これらの場所をみると、[dp. 大岡山駅への坂道] のように名もなき道や場所が挙げられており、他の人に共有されていない個人的な理由により大切に思われている場所だと考えられる。

このことから、【図4】は縦方向の長さが「大切な場所の共有度」、横方向の広がり「大切な場所の多様性」を、図全体として「大切な場所の特性」を表していると考えられる。共有度と多様性はともにまちの特性を表すと考えられ、回答者数の多い場所のみを重要視するのではなく、全体を捉える視点が肝要だと考察される。

(2) 個人属性から見た大切な場所

大切な場所を回答者の個人属性(年齢・住所・居住年数)から分析した。

回答者数が少なかった場所では、個人属性からみた傾向を読み取ることが困難であったが、回答者が 10 人以上だった 15 箇所の年齢/住所/居住年数の集計結果を定性的に分析を行った⁽⁵⁾。まず、年齢では 8/15⁽⁶⁾、居住年数では 7/15⁽⁷⁾ の場所で回答者全体の属性傾向とは異なる傾向が確認された。具体的には、[d. 東工大本館前]、[i. 東工大陸橋]、[k. 洗足池図書館] は年齢や居住年数が低く、新しく引っ越してきた若い世代が大切な場所として選んでいることが考察された。一方、[j. 千束八幡神社]、[o. ひょうたん池] は年齢や居住年数が高く、昔から住む住民から選ばれていることが考察された。

次に、住所では 11/15⁽⁸⁾ の場所で回答者全体の属性傾向とは異なる傾向が確認され、年齢や居住年数よりも、より強く住所と大切な場所に関係があることが示唆された。

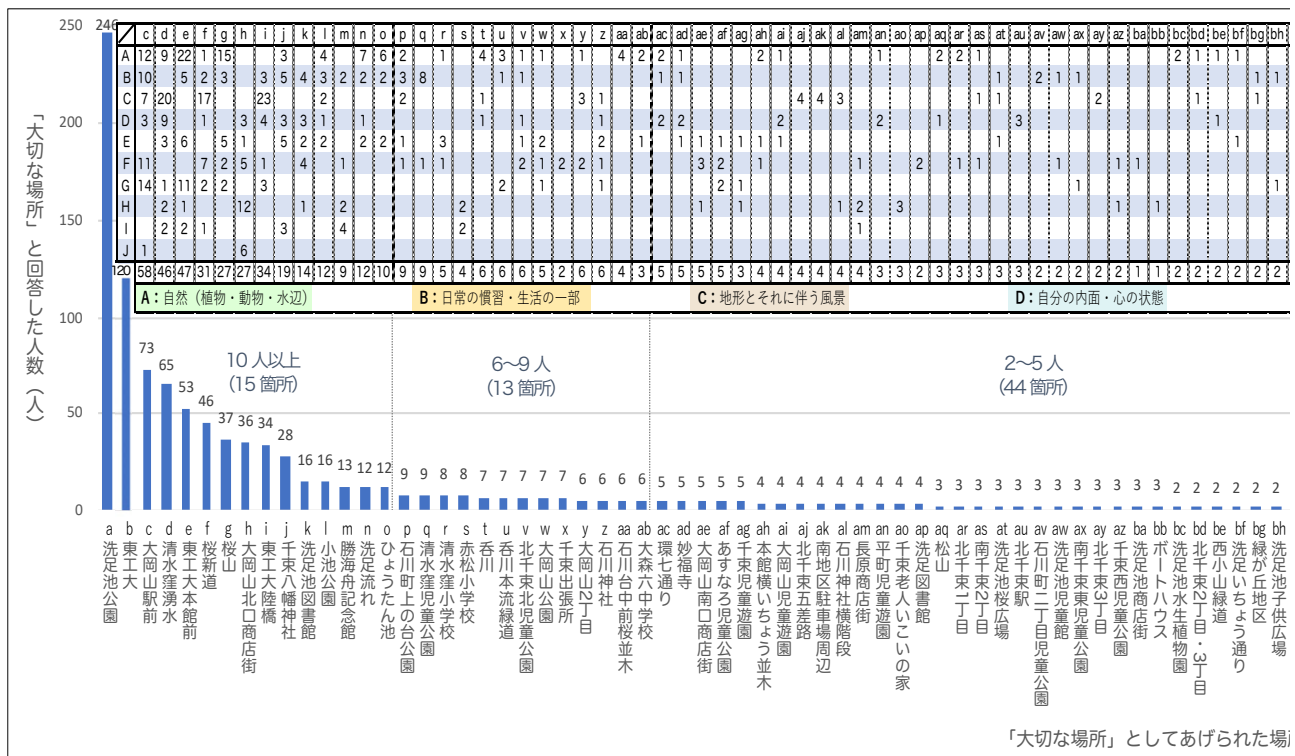


図4. 「大切な場所」としてあげられた場所とその回答者数と「大切に思う理由」の場所ごとの回答者数とその分類(表)

件未満であるが、回答者の町丁目別に見ると、自分が住まう町丁目にある街区公園を少なくとも2名以上が選んでおり、町丁目別では上位にあるものが多い。つまり、住んでいる町丁目規模で共有されている大切な場所だと考察される。

最後に町丁目別の回答者数が1人のものに注目する。これは町丁目内やその周辺にあるもの、少し離れた位置にあるものもあり、回答者の生活圏などの影響を受けていると考えられる。どちらの場合でも、これらの場所は個人的な場所だということがわかる【図6右】。

以上のことから、住んでいる場所との関係からみると、大切な場所には「地区全体で共有されている大切な場所」、

表1. [a. 洗足池公園]と[b. 東工大]の理由の分類

()内の数字は含まれる理由の数

| a.洗足池公園 (197) | |
|---------------|---|
| ■ | 自然が感じられる場所である (33) |
| … | 四季の移り変わりが感じられる (16) |
| | 多様な動植物や貴重な水環境など豊かな自然がある (36) |
| | 都心で自然に触れられる貴重な空間である (7) |
| ■ | 散歩をはじめ様々な活動を楽しみに日々訪れる (41) |
| … | 日々の散歩で自然を楽しむ (18) |
| | 自然遊びができる (8) |
| | 子どもを連れてよくいく場所です。自然がたくさんあり、住んでいても自慢のできる場所です。この夏は虫取りをして大人も一緒に楽しみました。(女性/30代/北千束1/10年未満) |
| ■ | 水辺があることで地形の文脈を感じたり空が広く感じたりする (5) |
| ■ | 心に触れる自然があり時間を忘れて癒される (45) |
| | 春夏秋冬それぞれの季節を感じられ、ここを訪れる人たちがみんな穏やかでやすらげる空間。(女性/40代/北千束1/30年以上) |
| ■ | 子どもの頃や家族との思い出の場所である (24) |
| | 6・8年前通学の帰りに必ず寄り道して遊んだ場所、いつまでも残したい大切な場所(男性/70代/その他/20~29年) |
| ■ | 他者の姿を見て楽しむ (3) |
| ■ | 老若男女の集い交流が生まれる場所である (8) |
| | 鳥の案内板があるので野鳥観察の初心者でも楽しめたり、鳥を見ていると「あっちにカワセミがいましたよ」などと教えてくれる優しい方が多いの好きなおとこです。(女性/20代/上記住所内に在勤・在学/-) |
| ■ | 長い土地の歴史の残る景勝地である (8) |
| ■ | 自然豊かな地域のシンボルである (4) |
| | 心なごも景観に囲まれた、大きな公園。心も体も健康になれる地域の象徴(男性/60代/南千束2/30年以上) |
| b.東工大 (91) | |
| ■ | 自然が感じられる場所である (33) |
| … | 四季の移り変わりが感じられる (16) |
| | 学術的空間でありながら豊かな自然がある (17) |
| ■ | 散歩をはじめ様々な活動を楽しみに日々訪れる (15) |
| … | 日々の散歩で自然を楽しむ (8) |
| ■ | 富士山のある風景を楽しむ (7) |
| ■ | 広々とゆったりとした雰囲気があり人々の憩いの場となっている (8) |
| | 時計台前で咲き乱れる見事な桜、秋の黄色に色づいた銀杏並木など、静かで広い構内は住民にとっても安らぎの大切な空間になっています。(男性/70代/その他/20~29年) |
| ■ | 思い出の場所である (5) |
| ■ | 車の少ない構内を地域住民も安全に歩くことができる (6) |
| ■ | 学生や元気な子どもの様子が見える (3) |
| | 東工大のキャンパス内で地域の子供もたちが遊んでいる姿を残していきたい。(男性/20代/上記住所内に在勤・在学/-) |
| ■ | 大学と地域で交流があり構内は地域住民の集う場所である (4) |
| ■ | 歴史を感じる自然や建物がある (3) |
| ■ | 学園都市としての地域の顔となっている (7) |
| | 大岡山駅前からひろがる東工大は、住民の誇る文教地区の代表です。キャンパス内の自然の育みも子供の成長と一緒に恵みを受けました。(男性/70代/南千束3/30年以上) |

※■の色は【図7-1, 3】内の分類を示す色に対応する。

「町丁目規模で共有されている大切な場所」、「同じ町丁目に住む他者に共有されていない個人的な大切な場所」の3つの特徴があることがわかった。

4. 大切に思う理由の分類と分析

「大切に思う理由は何ですか?」との問いに対する回答者は366人、回答総数は873件であり、大切な場所の79.1%が理由とともに回答されていた。

大切に思う理由の記述回答は場所ごとに整理を行った。そのうち回答数が多く多様な理由が見られた[a. 洗足池公園] (197件)と[b. 東工大] (91件)の結果を【表1】に示す。このように、それぞれの場所ごとに、類似する理由を集めてグループを作り、グループにタイトルを付けた。次に、場所に関係なく、付けられたすべてのタイトルを集めて分類した結果、A~Jの10分類となった⁽¹⁰⁾。【図4(表)】は各場所の大切に思う理由の数を分類ごとに示したものであり、各分類での理由数の合計が多い順に分類A~分類Jとした。

(1) 大切に思う理由の質的分析

大切に思う理由の10の分類には、大きく3つの傾向が考察された。

1つ目は、場所の特徴を示すようなもの(分類A, C, F, I)である。分類F「機能性・利便性・景観」は機能性や利便性についてのものや、整然としていて綺麗というような表面的な景観についてのものである。分類I「地域の歴史性」は自然・神社・学校が古くから守られてきたこと、道や樹木から歴史を感じることで、歴史的人物に縁があること等がある。分類C「地形とそれに伴う風景」は、坂・高台の風景・水系など当地区ならではの地形についてのものと、富士山の眺望や空が広いというような地形や建物に深く関係するものである。分類A「自然(動物・植物・水系)」は、多種多様な動植物や水辺など豊かな自然があること、街路樹や花壇などで自然を身近に感じること、これらから四季の変化を感じることで等理由がある。

2つ目は、場所と個人の関係を示すもの(分類B, D, E)である。分類D「自分の内面・心の状態」は自然や景色に癒される、駅に着くと帰ってきた安心感を感じる、商店街を歩いて元気になるというような、内面への影響を理由としているものである。分類B「日常の慣習・生活の一部」は、大人は散歩・運動・休憩などに、子どもは遊び場として使うなど、日常生活で繰り返し訪れているというような理由である。分類E「思い出」は子どもの頃や家族との思い出、学生時代の思い出など、個人の記憶に残る思い出に由来するものである。

3つ目は他者の存在があるからこそ生じるもの(分類G, H)である。分類H「他者との関係・交流・集まり」は老若男女が集まること、そこで生じる交流や活気などを理由としているものがある他に、地域外からの来訪者の存在を理由としているものもある。分類G「他者へのまなざし・想い」は子どもをはじめとした人々の姿から感じる幸福感や、手入

れされた公園や花壇を通して感じる感謝の想い、場所や街を大切に思っている人の存在による安心感や嬉しさなどがある。

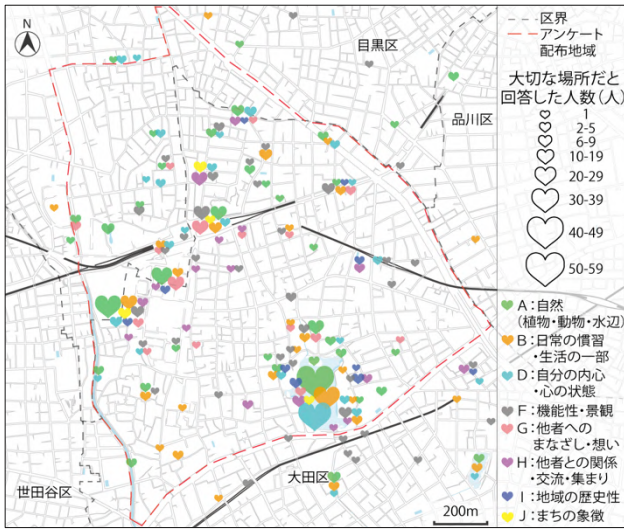


図 7-1. 分類 A・B・D・F～J の分布

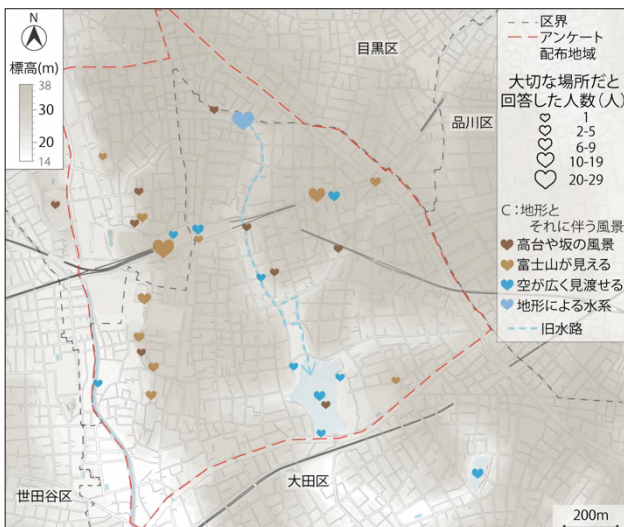


図 7-2. 分類 C「地形とそれに伴う風景」の分布と地形図

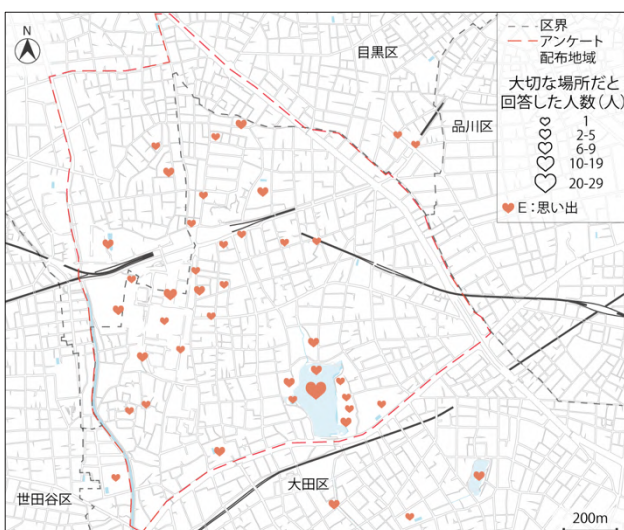


図 7-3. 分類 E「思い出」の分布

なお、上記の傾向に含まれないものとして、分類 J「まちの象徴」があった。

以上の分類の内容から分類間の関係を考えると、まちの土台であり特性となる分類 A・C・F・I が分類 B・D・E・G・H のまちの生活や豊かさへとつながり、これらがよく現われている場所の理由として分類 J があると考察される。

(2) 大切に思う理由の量的分析

【図 4(表)】は、それぞれの大切な場所が、どの分類の大切に思う理由とともに回答されたのかを量的に示したものである。

これを見ると、回答者数が多いほど 1 つの場所の持つ理由の分類は多くなり、多面的な理由から多くの人に選ばれる傾向が読み取れる。ただし、その傾向から外れる場所もみられ、例えば、回答者数が 9 名で等しい[p. 石川町上の台公園]と[q. 清水窪児童公園]を比較すると、前者は理由が 5 つ該当しているのに対し、後者は 2 つの分類だけであることから、同じ街区公園でもその特性が異なり、人々にとってのその場所の意味が異なることが考えられる。

また、一人だけが回答した場所[bu～dr]については、分類 E「思い出」と分類 F「機能性・利便性・景観」の理由が多いことがわかる。

そのほか、特徴的な場所として[c. 大岡山駅前]が挙げられる。[c. 大岡山駅前]は一見すると機能的な場所であるが、最も多くの理由があった分類として分類 G「他者へのまなざし・想い」があった。これは、【表 1】の[a. 洗足池公園]と[b. 東工大]の他者へのまなざしとは違い、駅前にあるコミュニティ・ガーデンを手入れしている中学生や地域住民への感謝の気持ちとそこから感じる想いが書かれていた。

次に、10 の分類ごとに量的傾向をみてみると、大切に思う理由の中で最も多いのが分類 A「自然（動物・植物・水系）」であり、215 件の回答があった。多くの人々がまちの中で身近に触れることのできる自然のある空間を大切に思っていることが伺える。次いで分類 B「日常の慣習・生活の一部」の理由が 123 件あり、日々訪れることで日常生活に欠かせない大切な場所となっていくことが考えられる。一方、分類 F「機能性・利便性・景観」は 82 件であり、大切に思う理由の回答全体の 1 割にも満たなかった。このことから、多くの人々は、都市計画等で一般的に重視される機能性・利便性の高さや整った景観を有した場所ではなく、まちの特別さや日々の生活、思い出、他者との関係のある場所を大切に感じているということがわかった。

5. 大切に思う理由から見る大岡山・千束地区

本章では、4 章で導いた大切に思う理由の分類 A～J から大切な場所の特徴を把握する。

分類 A～J の理由とともに回答された大切な場所を地図上に示して分析を行った【図 7-1】。これらのうち、特に分布に特徴がみられた分類 C、E を考察する。

分類 C「地形とそれに伴う風景」に関する理由は 93 件、当該理由のあげられている大切な場所は 24 箇所であった。

「地形とそれに伴う風景」に関する理由をより詳細にみると、(1)坂のある風景や坂・高台からの風景がある、(2)富士山が見える、(3)空が広く見渡せる風景がある、(4)地形から生じる水系、の4つに分けられ⁽¹¹⁾、これらの理由別に大切な場所を地形図に示した【図7-2】。これを見ると、(1)の高台や坂の風景は、地形的に谷となっている場所や西側の崖線上にみられる。(2)の富士山が見える大切な場所は、西側の崖線上に連なっていることがみてとれる。(3)の空が広く見渡せる風景は池や河川に多くみられる。(4)の地形から生じる水系は、[d. 清水窪湧水]の1箇所だけとなった。1970年代に小川が暗渠化されるまでは、清水窪から流れ出る湧水が洗足池まで流れ込む風景がみられたことから⁽¹²⁾、「昔の風景を想像して楽しんでいる。」といった理由のように、水辺としてではなく洗足池との繋がりを明確に意識した理由が語られていた。一方、洗足池を大切だと思ふ理由には、水辺としての記述はあるが水系に関する記述はなく、対照的である。

以上のことから、分類Cの分布には、当地区ならではの地形の特徴が大切な場所が織りなす構造として現れていると考えられる。地形に伴う風景は変わらずあり続ける地形に由来するもので、5年10年経っても変わらず、同じような分布になると考えられる。

次に、分類E「思い出」に関する理由は91件、当該理由のあげられている大切な場所は40箇所であった【図7-3】。これを見ると、[a. 洗足池公園]のように回答者が集まっている場所も一部みられるが⁽¹³⁾、全体的には、地形とそれに伴う風景に比べ、一つ一つのハートが小さく分散していることがわかる。これは、子どもの頃や学生の頃の思い出、子や孫と訪れた思い出など、個々人の記憶に残る思い出⁽¹⁴⁾の場所をそれぞれ持っているためだと考えられる。これらは、他者と共有されている場所ではなく、個人にとっての意味合いが大きい場所であることから、5年10年経った場合、今と分布が異なる可能性が高いと考えられる。

分類C「地形とそれに伴う風景」は、当地区ならではの地形の特徴を表しており、一つとして欠けることのないように一体的に考えていくことで、当地域の特徴を守りながら、この特別さについて人々の意識を高めることができる。また、分類E「思い出」も同様に、一つでは個人にとっての思い出の場所に過ぎないかもしれないが、まちの至る所にたくさんの人々の生活や記憶が刻まれていることを総体として認識することで、大岡山・千束地区の土地の履歴として価値づけができるようになると考えられる。以上のように大切な場所が織りなす構造は、1つ1つバラバラの大切な

場所として考える以上に、まちにとっての価値をより明確にするとともに、それぞれの価値も高めることができると考えられる。

6. 結論

大岡山・千束地区を対象に「大切な場所」と「大切に思う理由」についてアンケート調査を実施し、以下のことが明らかとなった。

1. 大岡山・千束地区に122箇所の大切な場所を確認した。洗足池公園のように、大岡山・千束地区で数多くの人に共有されている場所がある一方で、名もなき道など1名だけが回答した場所も50箇所確認された。
2. 住んでいる場所との関係からみると、大切な場所には「地区全体で共有されている大切な場所」、「町丁目規模で共有されている大切な場所」、「同じ町丁目に住む他者に共有されていない個人的な大切な場所」の3つの特徴があることがわかった。
3. 大切に思う理由の記述回答を場所ごとに整理し、類似する項目をまとめた結果、10の分類に分けることができた。この10の分類には、「場所の特徴を示すもの」、「場所と個人の関係を示すもの」、「他者の存在により生じるもの」の3つの大きな傾向がみられた。
4. 大切に思う理由の地図上の分布から考察した大切な場所が織りなす構造を考察した結果、分類C「地形とそれに伴う風景」については、変わらずあり続ける当地区ならではの地形の特徴が現れていることを確認した。

今後、地域住民に「大切な場所」の結果を共有することで、まちに大切な場所がたくさんあるということ、まちを大切に思っている人がいるということを知り、まちの見方が変わるとともに、地域への愛着が増し「自分のまち」という意識につながることを期待される。また、これらの大切な場所が織りなす構造はこの地区のコミュニティ生活や本質を現しており、この構造をまち全体でとらえることで、1つの場所においても、まち全体においても、地域住民にとって本当に守るべき大切なことの方向性が明らかになると考えられる。

【補注】

- (1)まちづくりアンケートを実施した大岡山・千束地区まちづくり協議会は、「地域力を生かした大田区まちづくり条例」に基づき設立された組織である。協議会は、今後のまちの未来について考える「大岡山・千束地区の未来のためのまちづくりアンケート」を実施した。なお、アンケート調査の設計及び分析作業は、筆者らが所属する大学研究室が担当した。
- (2)洗足池公園や東工大については、それぞれ特定の場所の記述がない全体に対するものは[a. 洗足池公園]や[b. 東工大]とし、敷地内の特定の場所についての記述または地図上に印があるものは別の名称で整理している。
- (3)大切な場所の回答総数1104件のうち、特定の場所である122箇所に対する回答の他に、まち全体の住宅街や公園、学校、坂道等に関する抽象的な回答(図4中「まち全体」)が21件あった。また、まち全体への抽象的な回答としては以下のようなものがある。
 - ・散歩をしていると町中至る所こくねくねした細い道があります。かつての農道です。歴史をたどれるような気がします。@[まち全体](女性/70代/北千束1/30年以上)
 - ・高低差のある住宅地をお庭や建物を見ながら散策するのが心地よい。



写真1. [c. 大岡山駅前]

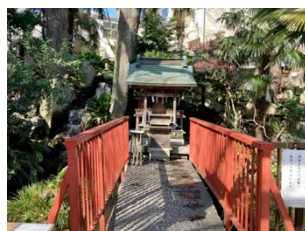


写真2. [d. 清水窪湧水]

知らなかった小道を発見することもある。よく手入れされた庭木やツタをみると、その家の人の愛を感じる。閑静な住宅地もあれば、少しにぎやかなそれもある。歩いていると新しい発見が毎回あり、季節ごとの花々や昆虫、空の表情、人々の服装や表情などを楽しんでいる。

@[まち全体] (男性/50代/その他/20~29年)

- (4) 本論文では特に断りなく共有と書いている場合は、価値や認識の共有であり、言語化せずとも無意識のうちに他者との間に生まれた、大切であるという共通認識を表現している。
- (5) 回答者数が1位、2位である[a. 洗足池公園]、[b. 東工大]については年齢・住所・居住年数の全ての属性において、大切な場所の問いの回答者全体の個人属性の傾向と同様の傾向を示していた。
- (6) [d. 東工大本館前]、[h. 大岡山北口商店街]、[i. 東工大陸橋]、[j. 千束八幡神社]、[k. 洗足池図書館]、[m. 勝海舟記念館]、[n. 洗足流れ]、[o. ひょうたん池]の8箇所が該当する。
- (7) [d. 東工大本館前]、[h. 大岡山北口商店街]、[i. 東工大陸橋]、[j. 千束八幡神社]、[k. 洗足池図書館]、[l. 小池公園]、[o. ひょうたん池]の7箇所が該当する。
- (8) [c. 大岡山駅前]、[d. 清水窪湧水]、[d. 東工大本館前]、[f. 桜新道]、[i. 東工大陸橋]、[j. 千束八幡神社]、[k. 洗足池図書館]、[l. 小池公園]、[m. 勝海舟記念館]、[n. 洗足流れ]、[o. ひょうたん池]の11箇所が該当する。
- (9) なお、全体において町別割合に偏りが見られるのは、調査票の配布数が町によって異なっていたことの影響だと考えられる。
- (10) なお、この分類を行う際に、場所は異なっているが、意味する内容が類似するタイトルがあった場合には、タイトルの表現を揃えた。
- (11) (1)~(4)に含まれる意見数・場所数・理由の例は以下の通りである。
 - (1) 12件・9箇所・大岡山駅に続く道から見るこの坂の風景が好きです。坂の底が見えずなんとなくワクワクします。@[ay. 北千束3丁目] (女性/40代/南千束/20年~29年)
 - (2) 41件・11箇所・東工大の線路にかかる橋から見える富士山は素晴らしいです。@[i. 東工大陸橋] (女性/70代/石川町1/30年以上)
 - (3) 41件・10箇所・駅前に開けていて、雰囲気良く、大岡山周辺の印象を向上してくれている。@[c. 大岡山駅前] (男性/40代/南千束2/10年未満)
 - (4) 20件・1箇所・子供の頃よりこの湧水が不思議でした。この湧水が遙か洗足池へと流れ込んでいるということは子供心に「スゴイ！」と思ったことでした。@[d. 清水窪湧水] (女性/70代/北千束2/30年以上)
- (12) 現在は、暗渠化、分流式による雨水を流して洗足池に注いでいるが、それを知っているのは、雨水装置を付けている暗渠沿いの住民だけで、多くの人は知らない。
- (13) 洗足池公園や東工大本館前は、他者と思いつきの場所が偶然重なったものであり、これは多くの人が集まる場所で起こりうる。
- (14) 思い出に関する理由には以下のようなものがある。
 - ・子供たちが生まれたとき、七五三の時、その他祝事の時などお世話になり、子供の成長を楽しみにしたものでした。@[j. 千束八幡神社] (女性/70代/北千束1/30年以上)
 - ・大井町線の陸橋の上から北千束駅と大岡山駅との間の電車が通るのを昔は母とよく見た。@[cn. 大井町線上陸橋] (男性/60代/北千束2/30年以上)

【参考文献】

- 1) 松村暢彦・尾田洋平・来田成弘・楠田勇輝・平井祐太郎 (2011), 「場所の記憶の共有化による地域のなごみに及ぼす影響~兵庫県川西市大和団地をケーススタディとして~」, 土木学会論文集D3 (土木計画学), 67(5), 417-425
- 2) 谷口綾子・宮川雄貴・石田東生 (2014), 「地域の物語が自治体職員の地域愛着に与える影響の検証~かしてつバス導入時の事例~」, 土木学会論文集H (教育), 70(1), 54-64
- 3) 窪田愛実・羽鳥剛史 (2015), 「地域の物語との協和性認知と住民協働事業への参画に関する研究」, 土木学会論文集D3 (土木計画学), 71(5), 359-366
- 4) 建部謙治・松本直司・花井雅充 (2003), 「生活空間における心象風景と地区特性との関連性: 子どもの心象風景に関する研究 その1」, 日本建築学会計画系論文集, 68(565), 217-223
- 5) 松本直司・建部謙治・花井雅充 (2004), 「生活空間における想起距離及びその方向性: 子どもの心象風景に関する研究 その2」, 日本建築学会計画系論文集, 69(575), 69-75
- 6) 湯川竜馬・山口敬太・久保田善明・川崎雅史 (2021), 「日常生活圏にお

ける場所経験価値の評価手法に関する研究」, 土木学会論文集D1 (景観・デザイン), 77(1), 1-16

- 7) ルドルフ・オットー (1917/2005 訳), 「聖なるもの」(華園聡鷹 訳), 創元社
- 8) ミルチャ・エリアーデ (1967/2014 訳), 「聖と俗: 宗教的なる物の本質について」(風間敏夫 訳), 法政大学出版局新装版
- 9) ケヴィン・リンチ (1960/2007 訳), 「都市のイメージ」(丹下健三、富田玲子 訳), 岩波書店新装版
- 10) クリストファー・アレグザンダー (1977/1984 訳), 「パターン・ランゲージ」(平田翰那 訳), 鹿島出版会
- 11) ランドルフ・T・ヘスター (2006/2018 訳), 「エコロジカル・デモクラシー: まちづくりと生態的多様性をつなぐデザイン」(土肥真人 訳), 鹿島出版会